

<バルーン抜去困難に対しバルーンシャフトを強く牽引したところガイディングカテーテル内でバルーンシャフトが断裂した場合の対処法>

断裂したバルーンの手前部分をまず抜去。ガイディングカテーテル内に新たなバルーンを挿入し、冠動脈内に残った断裂したシャフトがある部位までバルーン運ぶ。同部位でバルーンをインフレートし、断裂したバルーンシャフトをガイディングカテーテルとの間で挟み込み、その後システムごと抜去することにより回収が可能であった。